

# ドライアイ 診療の 明日を拓く



MR-6000  
DRY EYE

日時

4.8 sat  
7:45▶8:45

会場

第9会場

東京国際フォーラム ガラス棟5F  
G502

オンデマンド配信期間 4/27(土)正午~5/26(金)正午

## Organizer



大橋 裕一先生

社会医療法人仁友会 南松山病院



横井 則彦先生

京都府立医科大学眼科学教室

涙液およびocular surface研究の進歩により、ドライアイの多様な病態が徐々に解明されつつある。また臨床面においては、本邦で開発されたドライアイ治療薬が患者のQOLやQOVの維持・向上に重要な役割を果たしている。他方、ドライアイの診療においては、使いやすく、かつ信頼できる検査機器の存在が不可欠であり、多角的な関連データを提供可能ないくつかの解析装置が国内でも普及し始めている。

そこで本セミナーでは、三人のドライアイ専門家をお迎えし、新たに開発された「マルチレフMR-6000(トーマー)」に搭載予定の「ドライアイ検査アプリケーション」について紹介したい。本機の優れたパフォーマンスについての最新情報をお届けする予定である。



Lecturer 1

横井 則彦先生

京都府立医科大学眼科学教室

ドライアイ診療の流れと  
MR-6000ドライアイアプリの  
位置づけ



Lecturer 2

有田 玲子先生

伊藤医院

ドライアイ診療の明日を拓く  
—マイボーム腺の観点から—



Lecturer 3

山口 昌彦先生

愛媛県立中央病院

検査室でドライアイをスクリーニング  
~New TSASによる  
非侵襲的涙液層解析の可能性